

令和8年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第5回）議事要旨

日 時 令和8年7月29日（金）13:00～15:10

場 所 新見市役所南庁舎3階 3A

出席者

評価委員会 岡崎委員長、中西委員、加藤委員

事務局 掛屋課長、泉課長補佐

■要旨

前回までの評価委員会で各委員から聴取した意見を取りまとめた年度評価及び期間評価並びにそれらの全体評価について、確認を行った。

また、「公立大学法人新見公立大学業務の実績に関する評価結果」について、作成を行った。

なお、今回の評価委員会で取りまとめが完了したため、評価結果を市長に報告することとなった。

■詳細

[令和7年度に係る業務の実績に関する項目別評価]

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

3 学生の確保及び支援

1) 学生の確保

8ページ目 「入学者選抜実質倍率の上昇及び入学生定員充足率については」を「入学者選抜実質倍率は上昇し、入学生定員充足率についても」に修正。

[全体評価]

1. 事業の実施状況について

「入学者選抜実質倍率の上昇及び入学生定員充足率については」を「入学者選抜実質倍率は上昇し、入学生定員充足率についても」に修正。

3. 法人のマネジメントについて

「教職員一体化」を「教職一体化」に修正。

4. 中期計画の達成状況

【順調に進んでいる】を【順調に進んだ】に修正。

[期間評価に係る実績報告書に関する項目別評価]

I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置

1 教育

1) 教育の内容

3ページ目 「学生の獲得が困難な状況において」の次に「も」を追記。

3 学生の確保及び支援

3) 学生に対する支援

21ページ目 「免疫基板」を「免疫基盤」に修正。

23ページ目 「課題解決に向け自主的に取り組み」を「自主的に課題解決に向け取り組み」に修正。。

Ⅳ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置

1 組織の改善及び効率化

1) 機構の再編

33 ページ目 「四年生大学」を「4 年制大学」に修正。

[中期計画の全体評価]

1. 事業の実施状況について

「〇100%に近い国家試験合格率と就職率を維持している。」を追記。

3. 法人のマネジメントについて

「出来た」を「できた」に修正。

[公立大学法人新見公立大学業務の実績に関する評価結果]

6 評価結果

(1) 総合的な評定

評価委員会は、公立大学法人新見公立大学が自己評価し提出した「公立大学法人新見公立大学の令和7年度に係る業務の実績に関する項目別実績報告書」及び「第3期中期目標期間評価に係る実績報告書」を適正な評価と認め、次のとおり評定した。

公立大学法人新見公立大学は、豊かな教養と高い倫理性を養い、多面的な人間理解を深め、健康科学に関する専門の知識と技能を教授研究し、良き社会人として、市民の生活及び文化の向上並びに地域及び社会における保健医療の進展、福祉の充実と教育の振興に寄与する有為な人材を育成することを目的としている。

短期大学から4年制大学への移行期を円滑に乗り越え、地域に根差した高等教育機関として着実な成果を上げている。

教育の分野においては、チューターアドバイザー制度や随時相談できる体制などの手厚い学修支援により国家試験で高い水準の合格率を維持しているほか、文部科学省の「全国学生調査」でも多くの項目で上位にランクインするなど学生からの評価が高い。

少子化が進む中、全学科で定員割れすることなく充足率100%を維持し、魅力ある大学づくりと学生確保において特筆すべき成果を上げている。新たに立ち上げられた学生生活支援センターSA制度による主体的な活動や、海外研修の再開などの国際交流も充実している。

研究および教育の高度化の分野においては、大学院の改組が順調に完成年度を迎え、西日本初となる摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程が開設された。岡山市立市民病院との包括連携協定や全世代型地域包括ケア研究センターの設置など、医療現場や行政、企業等と強固に結びついた産学官民協働の体制が構築されている。

地域貢献の分野においては、教員や学生が各種委員や講師として積極的に地域に関わり、各種イベントへの参加やボランティア活動の拡大を通じて地域活性化に大きく寄与している。「NiU 新見駅西サテライト」を拠点とした多世代の市民交流や相談援助活動、新見版 MaaS 推進プロジェクトへの参画など、中山間地域の課題解決に向けた大学の知見

の還元が多大な成果を挙げている。

管理運営や財務の分野においては、計画的な教職員の採用やプロパー職員の確保、法人職員の評価制度の改善、ICT 支援体制の強化による業務効率化、ペーパーレス化や計画的な施設修繕、バス購入による利便性向上の推進など、健全で快適なキャンパス環境と組織基盤が整えられている。

総じて同大学は教育・研究・地域貢献の各領域において地域社会から厚い信頼を得ており、今後は本評価において指摘された課題に対する改善を進めつつ、一層の活動の充実と持続可能な大学運営の展開が期待される。

以上、公立大学法人新見公立大学の令和 7 年度における業務の実績及び第 3 期中期目標の期間における業務の実績から「計画を達成した」と評定する。

(2) 中期計画の項目ごとの評定

I 教育研究等の質の向上に関する目標

ア 評定 中期計画の進捗状況は、「計画以上の進捗がみられた」と評定する。

イ 理由

チューターアドバイザーや学生生活支援センター S A 制度によるきめ細やかな相談・学修支援が、国家試験の高水準な合格率や高い就職・進学率、学生の確保に大きく寄与している。少子化の厳しい状況下で全学科の定員充足率 100%を達成し、認証評価等でも優れた結果を得た。今後は、国家試験のさらなる合格率向上、防災士資格の位置づけの明確化、外部資金（科研費等）の獲得強化に向けた取組が望まれる。

ウ 評価した項目

① 項目数 6 項目

② 特筆すべき項目

【教育】

- ・チューターアドバイザー等のアドバイスにより、国家試験について、高い水準での合格率を維持している。
- ・岡山市立市民病院との包括連携協定の締結により、教育・研究・臨床の三側面から質の高い医療提供体制を構築することができた。
- ・大学機関別認証評価及び全国学生調査において優秀な評価を得ることができた。
- ・入学者数について、定員割れすることなく充足率 100%を維持している。
- ・アメリカニューパルツとの海外研修等国際交流が充実し、グローバルな人材の育成につながっている。
- ・4 年制大学への移行に対応するため、計画的な教員の採用や I C T 支援体制の強化、企画立案機能の整備など、教育組織の構築ができています。

【研究】

- ・西日本初となる摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程が開設されており、今後の研究の推進及び充実に期待する。
- ・学生が地域に出向き、専門的な視点から会議等に参画するなど、大学の知見を活かした地域連携への取組が評価できる。

- ・科研費等獲得状況について、実績が低下しており、獲得に向けた取組を強化され、研究活動等の充実に努められたい。

【学生確保及び支援】

- ・入学生定員充足率については、全ての学科において 100%を超え、十分な学生確保ができています。
- ・コロナ感染拡大初期において、「感染症対策マニュアル」を策定し、施設内の感染リスクの低減を図るとともに、デジタルツールを活用し、授業を早期に開始するなど、迅速な対応は評価できる。
- ・学生がSAとして、全学生の大学生活の中での困りごとなど自主的に課題解決に向け取り組み、よりよい学生生活となるよう活動できていることは評価できる。

Ⅱ 社会貢献に関する目標

ア 評価 中期計画の進捗状況は、「計画以上の進捗がみられた」と評価する。

イ 理由

教員や学生が専門性を活かして地域行事や会議へ積極的に参画し、地域の活性化に貢献している点は大いに評価できる。

NiU 駅西サテライトを拠点とした体験学習や相談援助も円滑に展開されるなど、地域と連携した実践的かつ体系的な教育体制が確立されている。

ウ 評価した項目

① 項目数 1 項目

② 特筆すべき項目

- ・大学教員や学生の専門性が地域に浸透しており、講師・委員として参加する機会が増加し、専門的視点からアイデアを出すことで、新たな取り組みを生み出したり、関係団体の活動の充実が図られていることは大いに評価できる。
- ・学生が土下座まつり等地域の行事などへ積極的に参加し、主体的に役割を担うなど、地域活性化に貢献しており評価できる。
- ・「ひだまりのいえ」を中心に学生の実地体験学習が円滑に進められており評価できる。

Ⅲ 地域に開かれた大学づくりに関する目標

ア 評価 中期計画の進捗状況は、「計画以上の進捗がみられた」と評価する。

イ 理由

NiU 新見駅西サテライトを拠点とした多世代交流や学生の地域参画は高く評価できる。SA 学生の充実は持続可能な地域活動の活性化だけでなく、学生確保にも大きく貢献している。

ウ 評価した項目

① 項目数 1 項目

② 特筆すべき項目

- ・NiU 新見駅西サテライトにおいて様々な活動を活発に展開し、拡大することにより、

子どもから高齢者まで幅広い市民の交流拠点として年々利用者が増加していることは評価できる。今後も継続的な活動を期待する。

- ・地域共生推進センターSAは入学者の約15%程度の入学動機となるなど、学生確保にも貢献している。

IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標

ア 評価 中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んだ」と評価する。

イ 理由

短期大学から4年制大学への円滑な移行や、プロパー職員の計画的な採用は高く評価できる。今後は、職員評価制度の改善や研修の充実、適切な組織改編や配置を通じて、さらなる健全な大学運営の推進が期待される。

ウ 評価した項目

① 項目数 2項目

② 特筆すべき項目

- ・短期大学から4年制大学への移行について、学生数の増加に伴う教職員の増員や学生の利便性向上のための学校運営体制の整備など、スムーズに実施できたことは、高く評価できる。
- ・プロパー職員について、計画どおり順調に採用できた。

V 財務内容の改善に関する目標

ア 評価 中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んだ」と評価する。

イ 理由

授業料等の高い収納率の維持により、健全な財務状況である。今後は、積極的な情報発信による外部資金や科研費の獲得強化に加え、ペーパーレス化による経費節減や寄附金の透明性確保に向けた一層の取り組みが期待される。

ウ 評価した項目

① 項目数 3項目

② 特筆すべき項目

- ・授業料等収納率100%を達成している。
- ・引き続き積極的に外部資金の獲得に努められたい。

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

ア 評価 中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んだ」と評価する。

イ 理由

ホームページやSNSを通じた積極的かつ速やかな情報発信により閲覧数が増加した点は評価できる。今後は、幅広い世代への情報伝達の工夫を期待する。また、評価結果の業務改善への活用や、教員活動省察の本格実施による公平な評価を通じた資質向上・業務改善の推進が期待される。

ウ 評価した項目

① 項目数 2項目

② 特筆すべき項目

- ・大学の活動や講座情報をホームページへ積極的に掲載し、速やかな更新等を行うことで、ホームページの閲覧数が年々増加したことは評価できる。さらに、世代を超えた地域の方々にも情報発信をできるよう取り組むことを望む。
- ・教員活動の省察について、令和８年度からは本格実施へと移行するが、教員の資質向上や業務改善等につながるよう効果を期待する。
- ・自己点検・自己評価結果に関して、評価結果を業務改善に活用する体制が整った。さらに教職員への浸透や情報収集体制の見直しが早急に図られ、業務改善が推進されることを望む。

Ⅶ その他業務運営に関する重要事項

ア 評価 中期計画の進捗状況は、「計画どおり進んだ」と評価する。

イ 理由

計画的な施設修繕やバスの導入による快適な学修環境の整備や利便性向上は高く評価できる。今後は、防災訓練の回数増加や日程調整を通じて、より多くの学生が参加できる安全管理体制のさらなる改善が期待される。

ウ 評価した項目

① 項目数 ２項目

② 特筆すべき項目

- ・計画的な修繕等施設整備や新たな移動手段の確保により、学生と教職員にとって快適な学修環境を確保していることは評価できる。
- ・防災訓練については、回数の増加や時期の変更等により、より多くの学生が参加できるよう努められたい。

７ 公立大学法人新見公立大学に対する勧告等

該当なし

■次回開催日について

令和８年８月３日（月） １１時３０分から

市役所本庁舎市長室において、市長に対し、評価結果を報告する。